

# 新年祝賀会に約2千人

上越市の新年祝賀会は5日、リージョンプラザで行われました。参加者は約2000人で、いつもよりも多い感じがしました。オープニングは「春日山謙信流陣太鼓」の演奏でした。力強く、元氣が出る演奏でした。

今回は小菅市長にとって初めての新年祝賀会です。どう動いたらいいかアドバイスもあつたのですが、落ち着いた挨拶をされました。用意した原稿をたんと読み上げ

上は春日山謙信流陣太鼓です。

る形でしたが、この人の性格に合っていると思いました。挨拶の言葉の中では、「これまでの知識と経験、情熱のすべてを注ぎ、上越市のために恩返しをしたい」「ここに住んで良かったと皆が感じられる上越をめざし、さらなる飛躍を」というくだりが印象に残りました。続いて、渡邊市議会議員がいまの上越市の発展のために果たすべき市議会の役割をコンパクトに語りました。

その後は賀詞交換会です。舞台ではフルー

ト奏者の高橋由美さんと仲野享子さんが松任

谷由美の「春よ来い」などの演奏をしてくだ

さいました。この時間帯では、吉川区や柿崎

区、大島区などの知り合いのみなさんのところ

へ挨拶に行ったのですが、みなさん、一斉

に動いたので、挨拶したかった人に何人も会

えませんでした。

左のイラストはフルートの演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

演奏風景で

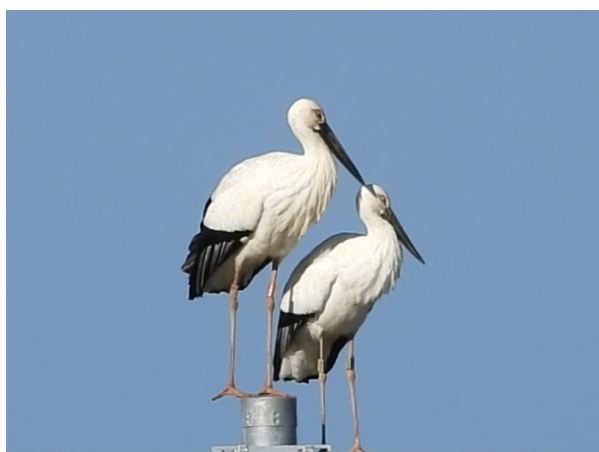
演奏風景で



【ヤツデ】（再掲）ウコギ科の常緑低木。漢字で「八手」と書きます。葉は人間の手を広げた形と似ています。日向だけでなく、日陰でも育ちます。晩秋から冬にかけて咲く白い花は目立ち、すぐわかります。昔から庭木として植えられていることが多く、市内各地で見られます。花言葉は「分別」「健康」「親しみ」など。吉川区小苗代地内で撮影。



12月22日は農政建設常任委員会の所管事務調査でした。テーマは上越市食料・農業・農村基本計画の見直しです。農業の担い手が激減している中、今後、令和12年までの後期計画をどうするのか、注目しました。私は委員ではありませんが、委員長の許可をもらって、「農林業センサス調査結果で過去5年間の基幹的農業者が3割も減っている。これからの5年間の取組で担い手確保が極めて大事だ」などと訴えました。



吉川区で2年連続子育てをした親鳥ペアです。左がオス、右がメスです。巣が崩れ落ちてしまった中で、今年も吉川区で繁殖、子育てをするかどうか注目です。12月30日、吉川区内の電柱にいる姿を撮影しました。

## はしづめ法一の活動レポート

No.2234 2026.1.11

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznysg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」は ← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八八一回 指先の小さなキズ

指先がこんなにも大事な役割を果たしているとは思いませんでした。右手親指の爪の右端の先にできた小さなキズにより、いま、私は物を持つにつもつかむにも不自由しています。

年明け早々の寒波でわが家でも四〇センチの雪が降り、除雪作業をしました。除雪機は初出勤ではありませんが、作業そのものは順調で、一日目も二日目もきれいに除雪できました。しかし二日目の作業がもう少しで終わるという段階になって、思わぬトラブルに遭（あ）ってしまいました。除雪機が雪の下になつていてブルーシートを巻き込んでしまったのです。

除雪機のエンジンを切り、カッターと大きな剪定ばさみを使って、機械に食い込んだシートを少しずつ取り除きました。でも、軍手をしての作業ではうまくいかず、途中から素手でシートを引っ張ったり、押しだしたりしていました。その際、誤って指先を切ってしまったようです。

血が出ているわけでもなく、指先が痛いだけでしたので、最初は雪が降るなかでの作業で手が冷たくなり、凍傷になったのかと思いました。指先の痛みは親指だけではなく、人差し指や中指にも及んでいました。それで、私の地元事務所に入ってお湯で指を温めました。でもすぐには治りませんでした。その日は巻き込んだブルーシートの除去作業をやめて、残りは翌日にやることにしました。

家に帰ってからの夜、お風呂に入っても痛みはひきませんでした。とくに親指が痛かったのですが、どうなっているのかなと思いつつ、親指の先を調べました。親指の先つぽの小さなキズは、長さ、深さともわずかに二ミリのほどのものでした。これがアカギシのような割れ方をしていたのです。

ひよっとすると冷たいなかで作業をしていたので、それが引き金となってアカギシ

になったのかとも思いました。しかし、それならば、人差し指も中指も割れているはずで、そうはなっていないから、やはり、作業中に傷つけたのだでしょうね。

小さなキズとは言え、困ったことが次々と起こりました。

箸（はし）を使うことはできますが、デジカメのメモリーカードを引き出すにも右指の親指と人差し指ではつかめません。お店で買い物をしてお釣りをもらう時、平らな皿の上に硬貨を置かれるときもなかなかつかめませんでした。

机の上の電気スタンドは右の親指を使つてボタンを押し、スイッチを入れたり切ったりしていました。これも押すと指先が痛いので、左の親指を使っています。

私の右手親指と人差し指には特技があります。長年にわたる印刷経験で、コピー用紙をはさむと一枚なのか複数枚なのか判断できます。これもできなくなりました。

一番不自由しているのはワイシャツなどのボタンです。ケガをする前から、ワイシャツの左の襟のボタンをはめにくくなっているのですが、今度はもっと範囲が広がりました。左手首のボタン、ワイシャツの真ん中のボタンまではめにくくなってしまったのです。

右の親指は爪のあるところで幅が二センチあります。爪の先の部分でも一・五センチあります。パソコンの入力の時、ボタンをかける時、本のページをめくる時など作業の種類によって、同じ爪の先でも力が作用する場所がずいぶん違います。普段はあまり考えなかったことがあったのですが、人間の動きの中で指の果たす役割は実に様々であることを改めて知りました。

親指の痛みは除雪作業をしてから四日目になっても収まりません。長期化したとき、長年の経験で蓄積した指先の能力に狂いが生じないか心配になってきました。

## 私の2025年10大ニュース

- ①県民の命と安全無視の柏崎刈羽原発再稼働容認。県民投票条例否決し、県議会で「同意」とは。知事の公約違反は明白。「人間の鎖」初めて県庁を囲む。



- ②中川市政から小菅市政へ。度重なる市長失言で現職失速。市長選は大混戦。市議補選で日本共産党の山本のぶこさん健闘。
- ③注目の参院選。日本共産党は比例区で2議席どまり、選挙区は東京だけ勝利。捲土重来期す。
- ④水不足。雨不足と県営高田発電所の水圧管破断で水道水大ピンチ。農地も干ばつ被害。
- ④合併20周年。上越市が周辺13町村と合併して節目の年を迎え、改めて合併の功罪が話題に。人口減少顕著。

- ⑤コウノトリ、今年も吉川区で営巣し、ヒナ3羽巣立つ。三和区でも営巣し、1羽巣立つ。「幸せを運ぶ鳥」として昨年も大きな話題に。



- ⑥県立松代病院の無床診療所化方針に大きな反発。県の説明会、反対集会に参加し、県病院局のグリ押しを批判。上越医療圏への影響必至。
- ⑦コメ不足で生産地上越でも重要課題に。農業の担い手不足、一段と深刻化。市内では「百姓一揆」の取組も。
- ⑧集中豪雨に突風。ポンポン玉クラスの雹（ひょう）被害も。
- ⑨エッセイ集『とちやの風』『母ありてこそ』発刊。
- ⑩『コウノトリさん、ありがとね』『かちやの歌』に続き、『ランラン凍みわたり』（いずれも地元の歌）話題に。

母あればこそ



橋爪法一

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月24日(水)	1月7日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.057	0.047
頸南消防署	0.070	0.067
東頸消防署	0.040	0.057
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.057	0.047